

# 日仏文化学院 **パリ日本人学校**



令和6年度学校だより **最終号** 第16号 2025年(令和7年)3月14日 発行 パリ日本人学校 校長 伊藤博

## 第52回卒業証書授与式挙行 ～卒業生の前途に幸あれ!～

うらかな春の日となった3月7日(金)、52回目の卒業証書授与式が多くのご来賓と保護者の方のご臨席の下で感動のうちに終わりました。式にあたって在フランス日本国大使館公使様、本校理事長様から、卒業生に向けて心温まる祝辞をいただきました。卒業生の証書授与の様子や別れの言葉、合唱を通じて、卒業生としての姿のあるべき在校生に見せてくれました。また、送り出す在校生が式に臨む姿勢もたいへん立派でした。半世紀以上続く本校の卒業証書授与式ですが、素晴らしい伝統がまたここで受け継がれたことを実感した日となりました。



### 《校長式辞から》

(中略) 卒業生の皆さん、卒業はゴールであると同時に、新しい世界へのスタートでもあります。スタートラインについての皆様へ二つの言葉を紹介します。

一つ目は、昨年夏から日本の一万円札の肖像になった渋沢栄一の言葉です。ちょっと乱暴な言葉ですが「四十五ははなたれ小僧 六十七は働き盛り 九十になって迎えがきたら 百まで待てと追い返せ」というもの。渋沢によると、今世の中の中心で社会を支えている皆さんのお父さんお母さん世代でさえまだまだと述べています。皆さんは十二歳か十五歳ですね。十分すぎるほどの若さの真ただ中にいます。

二つ目は、この若さについて「若さの前に不可能も無ければ、曇りやかげも無い。それは一切を突破する力であり、一切を明るくする太陽である。」という言葉。これは本校の中庭にも歌碑があり「君死にたまふことなかれ」の短歌でも有名な歌人と謝野晶子の言葉で、「青春の心は愛に燃え、熱に沸騰し、若草のやうに軟らかに、小鹿のやうに敏捷に、薔薇の如くに香り、光のやうに広がる」とも述べています。そして「若さ」を保つには、精神的にも肉体的にも自ら進んで活動し、できるだけ学問や芸術の世界に入りこむことが大切としています。十分すぎるほど若い、卒業生の皆さんには、これからの人生で、積極的に活動し、たくさんの人と出会い、語り、たくさんのお書物や芸術に触れ、多様な生き方や考え方を学び、真に世界に羽ばたくグローバル人材として成長してくれることを願っています。(以下省略)



### 《卒業記念品紹介》

※児童生徒の学習活動で大切に  
使わせていただきます。

- ・「例解新国語辞典」(三省堂)
- ・「例解新漢和辞典」(三省堂)

各22冊

修了式・離任式 令和6年度の全活動終了 ~修了式代表のことは~

小学部2年1組 KH	小学部5年1組 AH	中学部1年A組 SJ
<p>わたしは、パリ日で多くの体けんをえて、せい長することができました。</p> <p>一つ目の体けんは、「わらい」です。おもしろいことを聞いて、わらっていたわたしでしたが、今では自分でわらいを作ってクラスの友だちを楽しませることができました。グループ学習にもユーモアを入れて、発びょうにやくだてました。</p> <p>二つ目の体けんは、「あきらめない」です。さいしょは、二じゅうびや作文、計算がにがてだったけれど、あきらめずにれんしゅうすると、とくいになっていきました。</p> <p>三つ目は「コミュニケーション」です。それは「手つだおうか？」や、「いっしょにあそぼう」などのちょっとしたコミュニケーションで新たな友じょうがうまれました。</p> <p>このように、わたしが色々な体けんができたのも、先生方や友だち、そしてパリ日のおかげです。もうすぐ本帰国しますが、パリ日の体けんをつぎの学校や、これから先の生活で生かせるようにがんばりたいです。</p>	<p>ぼくは五年生のこの一年間で色々な思い出があります。</p> <p>一つ目は運動会です。ぼくはコロナのため、日本で運動会をしたことがありませんでした。そのため、パリ日に来て、小学校初めての運動会に参加しました。一番心に残ったのはリレーでした。みんなでバトンをつないで走るのですが、ぼくはバトンをわたすのが苦手だったので、友達と練習して上手になり、本番でもきれいにバトンパスができたのでうれしかったです。</p> <p>二つ目はパリ日祭です。ぼくたちは「ブラジル」という曲をえんそうしました。だれがどの楽器を担当するか決める時、ぼくはエレクトーンに手を挙げて、エレクトーンを担当することになりました。実際にやってみるとすごく難しかったです。だけど、家でなんどもれんしゅうして、当日はまちがうことなく、楽しくひくことができました。みんなで一つの曲を弾くことで、クラスの団結力が強くなり、いい思い出ができました。ぼくはこの三月で日本に帰りますが、このパリ日での思い出を大切に、日本でも色々な事に挑戦して頑張りたいと思います。</p>	<p>皆さんは、この1年どんな1年でしたか。私は、とても頑張った1年だったと思います。理由は、主に2つあります。</p> <p>1つ目は、転校したことです。私は、8月にパリ日に転校してきました。これで、もう3回目の転校ですが、何度経験してもつらいと感じます。それでも、元気にふるまったり、自分の転校した経験を思い出したりして、頑張ってきました。</p> <p>そして2つ目の理由は、パリ日に来てからパリ日祭や、音楽祭などのさまざまな行事を頑張ったからです。私は、2学期からしかパリ日に居なかったのですが、人と比べたら少ないですが、ここパリ日にはたくさんの行事があることを知って驚きました。それらの行事で、みんなの見えないところで練習したり、誰にも言わないで陰で努力したりした、という点で頑張ったと思います。</p> <p>このように頑張ってきたことはありますが、自分で成長したと思うことは、あまり思いつきません。でも、4月には中学2年生となり後輩もできるので、頼ってもらえる先輩になって、成長していきたいです。</p>



ありがとう!図書ボランティアさんの皆さん

3月11日(火)最後の図書ボランティアさんの活動がありました。読み聞かせの時は春らしい素敵なカードをいただきました。その後、図書室の新刊本の配架や図書案内の作成をしていただきました。新しくなった図書室の配架コーナーにも図書が並びました。まもなく今年度の「パリ日祭」の収益から寄贈していただいた170冊の書籍も届く予定です。昨年度からのバーコード化も含めて、本校図書室の環境整備が大きく前進したのも図書ボランティアさんたちのおかげです。心から感謝を申し上げます。今後とも本校の教育環境の充実のため、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



《「パリ日合同同窓会」卒業生からの寄贈本到着》

去る11月23日に東京で行われた「パリ日本人学校合同同窓会」の際、本校の図書充実のためにと寄付金をいただいたことをお伝えしましたが、その書籍が届きました。計31冊で教科や総合的な学習で役立つものがたくさんあります。図書ボランティアの皆さんに配架していただきました。児童生徒の学習活動で大切にに使わせていただきます。



《表彰の結果》おめでとうございます!



◎公益社団法人日本医師会及び読売新聞社主催  
「生命を見つめるフォト&エッセー」エッセー部門小学校高学年の部  
文部科学大臣賞 パリ日本人学校 6年 SSさん



年度末帰任教員あいさつ お世話になりました!

<p>出藍の誉れ 小4担任 MT 三月、四月になるといつも学級の子供に話すことがあります。その一つが「出藍の誉れ」です。子供たちが大人になったときに教師の背を超えて大きく成長してほしいと思っています。いつか再会したときに、立派な姿でお互いにあえることを期待しています。パリ日での二年間は素晴らしい体験でした。そして、素晴らしい子供たちに出会えました。遠く鹿児島からこれからの活躍をおうえんしています。</p>		<p>中1担任 SY 純粋で優しいパリ日の子供たちと、穏やかに充実した日々を送ることができたことはもちろん、保護者の皆さんには、大変お世話になり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。多くの方々の支えで、保護者・教師がひとつになって子供たちの成長を見守る大切さやそのやりがいを体感し、成長させてもらった2年間でした。大好きになったフランスを離れるのはとても寂しいですが、パリ日の皆さんのご活躍を応援しています!</p>
<p>小6担任 TM パリ日本人学校で過ごした三年間は、かけがえない宝物の時間となりました。真っ直ぐで、何事にも挑戦し続ける、前向きなパリ日の子供たちにたくさんのエネルギーをもらいました。そして、いつもあたたかく見守ってくださる保護者の皆様のご協力のおかげで、充実した日々を送ることができました。私は、パリ日本人学校で「先生」ができて幸せでした。今後のパリ日の一層の発展をお祈りしています。ありがとうございます。</p>		<p>3年間過ごしたこの場所で 小学部副担任 OT 空港からの高速の真っ暗な状況にびっくりしながら、到着したパリ日本人学校でした。3年間過ごさせていただきました。校庭の桜、青空に広がる飛行機雲を眺めるのが好きでした。冬の朝焼けも好きでした。いつまでも日が暮れない夏の夜も外で仕事をするのは最高でした。そうです、夏の朝はすぐ暑くなるので大変でした。季節をしっかりと感じる事ができたフランス3年間でした。</p>
<p>小1担任 OR 3年の任期を終えて、兵庫県明石市に戻ります。パリ日の子ども達はやさしく、積極的で、頑張り屋さんがとても多かったので、日々の授業を楽しみながら行うことができました。たくさんとった写真を見返すと、いつも子ども達の笑顔で溢れており、教員として幸せな時間を過ごすことができたと感じています。パリ日のみんなの頑張りや明石の子ども達にも是非伝えたいと考えています。皆様のご健康とご多幸を祈っております。お元気で!</p>	<p>教務主任 HH パリ日の子供たちと共に過ごすことで、かけがえない楽しい思い出をたくさん作ることができました。一緒にいるだけでいろいろな発見があり、毎日が楽しかったです。また私にとってフランスでの生活はとても新鮮で、たくさんの学びがありました。最後になりますが、保護者の皆様にはとても暖かく接していただき、本当に感謝しています。3年間ありがとうございました。</p>	<p>校長 伊藤 博 この3年間たいへんお世話になりました。1年目は主にポストコロナの対応、2年目は開校50周年事業、3年目はパリオリンピック・パラリンピックへの対応など、3年間駆け抜けた感じがあります。これまで関わってくださった全ての皆様のおかげで精一杯校長職を務めさせていただきました。改めて皆様に御礼を申し上げるとともに、半世紀以上続くパリ日の「絆」が、今後ますます深まることを心からお祈りしております。</p>

【最終号にあたって】

3年間ご愛読いただきましてありがとうございました。自分としては昨年度に特集として「パリ日の宝」を紹介したコーナーが印象的でした。「学校だよりの記事読みましたよ。」と声をかけていただくことができ、とても嬉しい気持ちになりました。来年度もさらに素晴らしい学校だよりの作成のため、様々なご意見やご提案をいただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。